

千葉市男女共同参画情報誌

Mirai みらい

2025
Summer
Vol. 51

Check! 令和7年度 年間スケジュール

起業

働く選択肢

特集





Interview

PROFILE

千葉県我孫子市で生まれ、八千代市で育つ。一級建築士。千葉県の古民家を後世に残し日本文化を保存・継承するため、千葉市に「株式会社人と古民家」を設立。古民家を改築した宿泊施設では、平均年齢70歳の地域住民を採用し雇用を生み出す等、「統合的な地域活性化としての古民家再生ビジネスモデル」として千葉県建築文化賞優秀賞を受賞。様々な環境下でも皆が動き続けられるよう、女性目線での会社経営と建築づくりを目指している。

建築の世界で、自分らしくキャリアを築き上げた道のりは、多くの人に勇気と希望を与えてくれます。その歩みと想いについてお話を伺いました。

一級建築士 牧野嶋彩子 さん

建築の道に進んだきっかけを教えてください。

父の影響が大きいですね。父が建築関係の仕事をしていて、家には製図板や丁定規があり、幼い頃から建築に触れていました。絵を描くのが好きだったこともあり、中学生の頃から設計の仕事に興味を持つようになりました。

そして、大学では学部で新設された女性30人の特別クラスに進みました。そこで設計事務所の先生たちから建築の面白さを教えていただき、その道を歩みたいと思いました。

特にそこで出会った女性教授からは大きな影響を受けました。当時、女性が大学教授として活躍することは珍しく、その姿に感銘を受けました。その教授に「牧野嶋さんも、ずっと仕事を続けていけるといいね」と励ましていただいたことが、ずっと心に残っていて、自分も仕事を続けていこうという思いにつながっていたのだと思います。

その後、先生の紹介で設計事務所に就職し

ました。そこでは、都市計画や住宅地計画に携わり、その経験が現在の仕事の基盤となっています。

起業したきっかけを教えてください。

設計事務所では長時間労働が当たり前でした。それでも仕事が面白かったので続けることができたけれど、子育てと両立するには難しい環境でした。今後のことを考え、育児休業中、設計事務所の社長からの助言や、父の「女性でも資格を持って活躍できる時代が来る」という教えに励まされ、一級建築士の資格を取得しました。復職後も働き続けましたが、家族との時間を大切にしたいという思いが強まり、両立の厳しさを実感しました。そこで、自分自身で働き方をコントロールできる独立という選択をしました。

その後、東日本大震災をきっかけに「千葉のために役立ちたい」と思い、日本の伝統技術で建てられた古民家を再生し、後世に継承して

いく事業を中心とした、株式会社人と古民家を新たに千葉市で設立しました。

起業して苦勞したことをお聞かせください。

起業して、新しいことに挑戦するたびに、0から1を作ることに難しさを感じました。特に、運営ノウハウを確立するのは本当に大変で、大きな課題でした。新しいことを始めるには、多くのパワーが必要です。それでもやりがいがあるから続けられるのだと思います。

それと、家庭と仕事の両立は、本当に大変でした。私の場合、近くに住む母のサポートなしには、とても乗り越えられなかったと思います。子育てをしながらフルタイムで働くことは、周囲の理解や支援がないと、非常に厳しい状況に陥りがちです。だからこそ、働く人々を社会全体で支える仕組みが、もっと必要だと感じています。

お仕事で大切にされていることをお聞かせください。

私が最も大切にしているのは、社員との信頼関係と、人とのつながりです。会社を経営する上で、企業理念として常に掲げているのは、「従業員の物心両面の幸せ」。社員が安心して働ける環境を整えることが、結果的に良い仕事につながると思っています。



令和6年度 女性のチャレンジ賞
(男女共同参画担当大臣賞)
を県内で初めて受賞。

※男女共同参画社会の実現を目指し、
起業やNPO活動、地域活動などで活躍
する女性に対する国の表彰。



株式会社 人と古民家

philosophy of Japan

〒263-0043 千葉県千葉市稲毛区小仲台 6-3-9 紅鶴荘 1 階
<https://hitokomi.com/>

女性は出産・子育て、介護など、ライフステージの変化の影響を受けやすく、ジェンダーギャップの問題も避けて通れません。しかし、女性が社会で活躍し、起業という道を選ぶことは、新しい可能性が求められる今、その人ならではの視点や発想は、それぞれの生き方にとっても、社会の活性化にとっても、大きな意味を持つのではないのでしょうか。

千葉市からの女性の起業を応援する事業を行っています！ お知らせ

千葉市の女性起業支援



ちはなスタートアッププログラム

女性向け起業セミナー

「いつか起業をしたい」「起業も働き方の選択肢として考えたい」「起業にチャレンジしてみたい」という女性を応援するセミナーです。起業の基礎知識のほか、SNS活用方法、起業にまつわるお金の話など、幅広く起業を学べます。

開催時期：7月～12月頃 開催回数：7回(単発受講も可)

参加費：無料



女性起業応援イベント「ちはなフェスタ」

起業に興味、関心がある女性の方、起業して間もない女性の方に向け、千葉市で起業を考える女性のためのイベントです。先輩女性起業家による講演やテストマーケティングなど、起業にまつわる様々な企画があります。

開催時期：秋頃 開催回数：1回 参加費：無料



女性向け特定創業者研修(令和7年度から新事業)

創業時に必要な「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の知識をより深く本気で学べる研修です。女性の先輩起業家や専門家から、研修で作成した事業計画へのアドバイスがもらえます。また、全日回の受講が終了した方が起業する際には、登録免許税の減免、融資利率の優遇や補助金申請が可能になるなどのメリットを受けることができます。

開催時期：11月～1月頃 開催回数：5回程度(単発受講は不可) 参加費：有料

※男女混合の特定創業支援等事業(研修・スクール)は年間を通して実施しております。



問い合わせ先 千葉市役所 経済農政局 経済部 産業支援課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1-1 TEL043-245-5292

メール sangyo.EAE@city.chiba.lg.jp



起業に必要な知識を学べる

女性のための『起業入門講座』

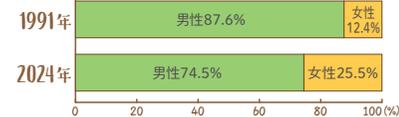
千葉市男女共同参画センターでは、毎年「起業入門講座」を実施しています。

“働く”選択肢は就職だけではありません。この講座は、働き方の選択肢を広げるために、「起業」のメリット・デメリットや必要な準備について、具体的に考えることに繋がる内容です。千葉市の女性起業を応援する事業や、(公財)千葉市産業振興財団とも連携しています。

また、情報資料センターでは、起業に関連するブックリストを作成し、資料の貸し出しも行っていきます。



新規開業者の男女比



出典：日本政策金融公庫「2024年度新規開業実態調査」

情報資料センター



働き方や生き方の新たな選択肢を見つける一歩に！

BOOKS



自分で「始めた」女たち
「好き」を仕事にするための最良の
アドバイス&インスピレーション
グレース・ボニール 著 月谷真紀 訳
海と月社 / 2019



とにかく仕組み化
人の上に立ち続ける
ための思考法
安藤広大 著
ダイヤモンド社 / 2023



仕事のモヤモヤに効く
キャリアブレイクという選択肢
次決めずに辞めてもうまくいく人生戦略
北野貴大 著
KADOKAWA / 2024

私たちの“気づき”がここに！



- 情報資料センターで閲覧・貸出できます！
- 【開館時間】9:00～21:00(日曜17:15閉館)
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始、特別整理期間

人生で感じる違和感や心のモヤモヤをクリアにするため自分らしく生きるためヒントとなる本をそろえています。

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月	
さんかくカレッジ 7月～11月(全5回)				第1回 7/19(土) 基礎知識	第2回 8/9(土) 家庭	第3回 9/27(土) 学校	第4回 10/11(土) 職場	第5回 11/8(土) 成果発表					
女性活躍推進			6/6(金)13(金)20(金) 女性のための起業 入門講座	女性のための 起業フォローアップ 講座1	女性のための 起業フォローアップ 講座2	9/5(金) 女性チャレンジ応援セミナー 9/5(金)12(金)19(金) 女性のための就職応援 ☆マザーズハローワークちば				キャリア支援 セミナー		創業者研修 ☆市産業振興財団	
平等・人権教育推進				7/18(金) しごと応援シリーズ1 ☆生涯学習センター	8/29(金) しごと応援シリーズ2 ☆生涯学習センター	9/19(金) しごと応援シリーズ3 ☆生涯学習センター			12/11(木) DV虐待に 関する講座 モラハラ	1/27(火) DV虐待の 基礎知識講座 ☆幕張本郷公民館	SOGI講座		
健康・性理解促進		若者のための デートDV予防講座		7/12(土) 女性のための健康セミナー ☆更科公民館			10/25(土) 女性のための健康セミナー リプロダクティブ・ ヘルス/ライツ講座I					リプロダクティブ・ ヘルス/ライツ講座II	
男女共同参画防災啓発			6/15(日) 男女共同参画 防災公開講座 ☆緑区役所			9/20(土) 男女共同参画 防災公開講座 ☆磯辺公民館		11/14(金) 市防災ライセンス 講座 ☆市防災対策課			2/13(金)20(金) 女性が力を発揮する ための防災セミナー		
ワーク・ライフ・バランス支援				7/13(日) カジダン講座 掃除編 ☆小中台公民館			10/4(土) 父子遊びの楽しみ方 ☆松が丘公民館		家庭における 参画		2/1(日) 父と子の料理教室		
男女共同参画理解促進			6/4(水)11(水)18(水) アサーティブトレーニング講座 6/28(土) 国参画週間関連事業 田中東子さん講演会			10/5(日) 国際ガールズデー事業 前川裕奈さん講演会 ☆生涯学習センター 10/25(土)・11/15(土) ファミリーテーター 養成講座		11/1(土) 女性の政治参画講座			2/14(土) メディアリテラシー講座 ☆南部青少年センター		
交流・啓発 フォーラム 映像セミナー	○	○	◎特別	○	○	○	○	○	12/6(土)～14(日) ちば・男女みらいフォーラム 12/13(土) 瀧波ユカリさん講演会	◎特別	○	○	◎特別
情報企画展示		～5/21(水) 女性の健康	5/30(金)～7/9(水) 国参画週間関連展示 推し活のために考えたいジェンダーと社会	7/18(金)～9/17(水) 男女共同参画の視点で考える防災	9/26(金)～11/19(水) 女性に対するあらゆる暴力根絶のために	11/28(金)～2/18(水) 市男女共同参画週間関連	2/27(金)～	国際女性デー関連					

相談のご案内

生き方・家族・職場の人間関係など、さまざまな悩みについてお気軽にご相談下さい。

チャットボット
ご利用ください▶



女性のための ハーモニー相談

専用ダイヤル **秘密厳守** **相談無料**

TEL:043-209-8775

※電話相談のあとの来室相談は、予約制となります。

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
10:00~16:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
16:00~20:00	休館日	●	●	●	●	●	-	-

女性のためのキャリア相談 **要予約**

毎月第2土曜日に実施しています。
詳しくはHPをご覧ください。
時間:①14:00~ ②15:00~

男性のための 電話相談

専用ダイヤル **秘密厳守** **相談無料**

TEL:043-209-8773

【相談時間】金曜日 18:30~20:30

千葉市男女共同参画センター

〈指定管理者〉公益財団法人千葉市文化振興財団
〈ハーモニープラザ管理運営共同事業体構成団体〉

〒260-0844

千葉市中央区千葉寺町1208-2

千葉市ハーモニープラザ内

TEL:043-209-8771

FAX:043-209-8776

【開館時間】9:00~21:00(日曜17:15閉館)

【休館日】月曜日、祝日、年末年始

<https://www.chp.or.jp/danjo/>

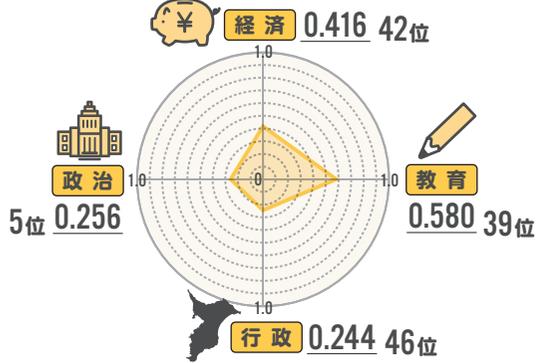
SNSで情報発信中!



TOPICS

千葉県ジェンダー・ギャップ指数

都道府県版ジェンダーギャップ指数は、各地域の男女平等の度合いを可視化するため、政治、行政、教育、経済の4分野、30の指標で分析したものです。2025年版のデータによると、千葉県は政治以外の3分野で順位が低迷しました。指数が1に近づくほど男女平等を示すこととなりますが、いずれの指数も1から遠く、各分野で男女平等に向けた取り組みが求められます。



【参考】
地域からジェンダー平等研究会
「都道府県ジェンダー・ギャップ指数2025」
<https://digital.kyodonews.jp/gender2025/>

その中でも経済分野の指標に注目!

> 経済分野全体 42位 0.416 <

30位
0.760

●フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差

前年に対して、男性の平均賃金は3,400円上昇したのに対し、女性の平均賃金は300円しか上昇しませんでした。全体として賃上げ傾向であっても、なかなか縮まらない男女間の賃金格差は大きな課題です。

15位
0.212

●共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差

女性が男性の4倍以上の時間を家事・育児に使用していることとなります。女性の社会進出のためにも、改善が求められます。

12位
0.184

●社長数の男女比

千葉県は比較的高順位を保っており、女性の社長数は毎年1500人程度増加していますが、男女比には激しいギャップがあります。

44位
0.138

●企業や法人の役員・管理職の男女比

働く環境づくりに関する指標での指数が低く、性別役割が根強く残っていることが伺えます。

これらの課題を認識し、地域から日本のジェンダー平等を実現していくことが求められます。